

平成29年度 行政評価表

担当課	南保育所
章名	第3章豊かな心を育むまちに暮らす
節名	第1節子ども・子育て支援の充実
施策名	2. 保育サービスの充実

施策の内容	目指す姿	多様な保育サービスの提供や子育て支援の充実により、安心して出産・子育てのできるまちになっています。
	現状と課題	<p>安心して子供を産み育てられるよう、妊娠期や出産期、乳幼児期などにおける母子保健活動の充実を図る必要があります。全国的に家庭や地域の子育て力が低下し、育児に不安や悩みを抱く親が増加し、児童虐待などが問題になっています。また、共働き家庭の増加により保育所の入所希望者は増え、本町での保育所の園児はこの5年間で1.7倍になり、待機児童も増加傾向にあります。</p> <p>子育て中の親たちを支援するため、本町では地域子育て支援センターや保育所を中心とした相談体制の整備を図るとともに多様化するニーズに対応した保育サービスの提供や、待機児童解消に向けた民間保育所の誘致などに取り組んできました。また、放課後児童クラブは需要が高まっており、一層の充実を図る必要があります。</p> <p>国においては、子ども・子育て支援新制度が平成27年4月から始まりますが、本町でも新制度に沿った新たな子育て支援策を積極的に推進していく必要があります。</p>

まちづくり目標値	指標名		現状(平成25年度)
	(1)		
	(2)		
	(3)		
	(4)		

目標値への推移		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	目標(平成31年度)
	(1)					
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	35,599	37,403	0	0	1,486	35,917

今年度の施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・安心、安全な保育環境のために、「危機対応要領」の見直しを実施し、事故防止のためのガイドラインに沿って危機管理体制を整えた。 ・施設面において安全点検を実施し、修繕を行い過ごしやすい保育環境を整えた。 ・保育所保育指針改定に伴う施行準備期間として、職員の研修参加および園内研修を実施し、職員の資質向上を図った。 ・子育て支援の一環として、保護者の保育参加(1日保育士体験)を継続して実施し、保護者の関心も高く100%の参加率だった。保育相談を通し保護者と職員との共通理解が得られ、家庭との連携が取れようになり効果をあげることができた。 	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	・子どもの育ちをめぐる環境の変化を踏まえ、さらに充実した保護者及び地域と連携した子育て支援が必要とされている。
	住民ニーズの変化について	・子育ての支援の一環として、地域の親子を対象とした「地域交流」の需要がある。
	展開した事業は適切であったか	・保育所施設内の管理や設備補修などを定期的に行いながら、安全な保育環境を整えた。 ・入所児童の個々の健全育成に配慮した保育の充実を図る等、適切であった。
	施策を達成するうえでの障害について	・保育課題の質や量が增大するなかで、保育体制を整えるための保育士の確保が難しい状況にある。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全な保育の提供のため、定期的な改修、修繕を行いながら保育需要に応えていく必要がある。 ・平成30年4月から「新保育所保育指針」が施行となり、保育計画の展開や保育の内容等についてさらに充実を図っていく。 ・子育て支援サービスの充実のために、一時保育の実施に向けて検討していく。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の一環として保育所内の情報をホームページやいなナビに掲載している。 ・地域の高齢者の方との交流の場としての「世代間交流」を2団体と年2~4回実施している。
----------------------	--